



MUSIC LAMP

Vol.10



森山威男
(drums)

森山威男カルテット

ゲストボーカル:
Shiho

オープニングアクト:
札幌ジュニアジャズ
スクール



2019.2.16 (土)

会場:札幌市教育文化会館
大ホール

札幌市中央区北1条西13丁目

プログラム

開場15:00
 ロビーイベント15:00~15:45
 ジャズライブ16:00~18:00
 お楽しみ抽選会18:00~18:15

佐藤芳明
(accordion)

水谷浩章
(bass)

森山威男カルテット

川嶋哲郎
(tenor sax)

ロビーイベントでは盲導犬体験やミニコンサートを行います。また、豪華景品が当たる抽選会参加券を、入場先着300名を対象に配布いたします。わくわくするプログラムが満載!イベント参加の方はお早めにご来場下さい。

●料金(税込) **全席自由**

一 般 前売 **3,000円** 当日 **3,500円**

小中高生 前売 **1,000円** 当日 **1,500円**

※未就学児の入場は膝上限り無料です。お座席を必要とする場合は、小中高生の料金と同額となります。

※お客様用の駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用下さい。

※大ホール会場内での録音、撮影は固くお断り致します。

※車椅子をご利用のお客様は車椅子のまま観覧できる専用エリアをご用意致します。

ご予約は、お問い合わせ先にご連絡下さい。

●チケット取扱

チケットぴあ(Pコード:135-519)

大丸プレイガイド(011)221-3900

(有)福岡燃料(011)761-7604

(株)クwest(011)520-5550

吉田会計事務所(011)624-8800

(株)ジャパンインシュアランスエージェント札幌支店(011)241-7686

ローソンチケット(Lコード:12444)

教文プレイガイド(011)271-3355

(株)東京フラワー(011)741-6262

札幌碧法律事務所(011)281-0200

●主催/チャリティーコンサート「ミュージックランプ」実行委員会

●主管/札幌ライラックライオンズクラブ

●共催/札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)

●後援/北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、STVラジオ

●協力/北海道盲導犬協会

お問い合わせ先/札幌芸術の森事業課

〒005-0864 札幌市南区芸術の森2-75

Tel 011-592-4125 Fax 011-592-4120 (休園日を除く9:15~17:45)

http://www.gsjf.com/



目に障がいを持つ方々や青少年の未来を照らす灯りになる。そんな思いを胸に、2010年に札幌ライラックライオンズクラブと公益財団法人札幌市芸術文化財団がはじめたチャリティジャズライブ。それが、ライラックチャリティ“MUSIC LAMP”です。

私たちは、市民の皆様へ上質なジャズをお届けします。皆様にお支払い頂いた入場料は、視覚障がい者の支援や青少年の健全育成事業のために使われます。つまり、未来を照らす灯りが、皆様によって灯されるチャリティライブです。使いみちは、毎年、札幌ライラックライオンズクラブのホームページ (<http://www.lilac-lions.com>) で公表されています。

10回目の今回は、日本のトップドラマーの一人である森山威男さんのカルテットと、ゲストにジャズボーカリストのShihoさんをお迎えし、スペシャルライブをお届けいたします。ライブ開始前の開場時間中も皆様に喜んでいただけるお洒落な企画をご用意しています。是非、開場からお楽しみ下さい。



森山威男 [drums]

1945年生。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。在学中より山下洋輔と親交を持ち、初期山下洋輔トリオに在籍。特異なフリーフォームを完成させ3度のヨーロッパツアーで激賞を受ける。1975年、山下洋輔トリオを退団。1977年より森山威男カルテットなど、自己のバンドでフォービートジャズに回帰、日本はもとよりドイツ、イタリアでも演奏。2002年に第27回南里文雄賞、第35回ジャズ・ディスク大賞日本ジャズ賞、第56回文化芸術祭賞レコード部門優秀賞受賞。2001年からは岐阜県の可見市文化創造センター主劇場にて『MORIYAMA JAZZ NIGHT』を毎年開催。約1,000人の聴衆を集め、地元の文化活動に貢献している。



川嶋哲郎 [tenor sax]

1966年富山県生まれ。高校時代よりテナーサクスを始め、大学在学中に独学でジャズを学ぶ。卒業後、会社員として勤務するが27歳でプロに転向し、現在テナー・ソプラノサクスの他、フルート奏者としても活動している。

日野皓正・山下洋輔などのバンド活動を経て、自己のカルテット、ソロ・デュオライブなど精力的に活動し、アメリカ、アフリカ、ヨーロッパ各国で多数の演奏家と共演する等、国際的にも表現の場を広げている。講師として洗足学園音楽大学で講座を受け持つ他、Jazzlife誌にて「気ままにジャズエチュード」を連載中。最新アルバムは「SOUL SUITE」。



佐藤芳明 [accordion]

国立音楽大学在学中に独学でアコーディオンを始める。卒業後渡仏、C.I.M.Ecole de Jazzにてアコーディオニスト・Daniel Milleに師事。既存のアコーディオンのイメージにとらわれない独自のサウンドで、ライブ、レコーディング、アーティストサポート、舞台音楽など、様々な現場で数多くの仕事をこなし、国内外を問わず、ジャンルを越えて幅広く活動。



水谷浩章 [bass]

1963年生まれ。12歳の頃エレクトリック・ベースを初め、20歳からライブハウスなどで音楽活動を開始。コントラバスを吉野弘志氏に師事。現在は、自己のユニット phonolite (木管、金管、弦を含む10人編成の変則ジャズ・オーケストラ)、phonolite trio (中牟礼貞則 (g)、外山明 (ds)) 等を主催。phonolite stringsでは、浜田真理子、柳原陽一郎、さがゆき、高瀬"makoring"麻里子、原田郁子、青葉市子、柴草玲らとのコラボレーションなど幅広い活動を展開している。山下洋輔、森山威男、坂田明、松岡敏一、大友良英、芳垣安洋ほか、多数のユニットに参加。また、作曲家、アレンジャーとしても活躍中。



ゲストミュージシャン / Shiho (ex. Fried Pride) [jazz singer]

ジャズボーカリスト。2001年に日本人として初の米国のコンコードよりFried PrideのボーカリストとしてCDデビュー。類いまれな歌唱力を武器に2016年12月のFried Pride活動終了(解散)まで、ブルーノートやビルボードライブを中心に全国各地のライブハウスや東京ジャズなど多くのJazzイベントに出演、米国ブルーノート・ニューヨークなど海外でもライブ活動を積極的に行いライブハウスやイベントに多数出演している。過去TV番組ナビゲーター (BSフジ)、ミュージカル「RENT」など舞台にも出演するなど多彩にその才能を発揮し、Fried Prideの活動を通じて、頭突きで瓦を割る女性 (武田梨奈) で話題になったセゾンカードのCMソング、2016年秋にはルクセンブルクにてオーケストラとの共演など、「ボーカリストShiho」としての知名度を上げた。解散後はソロのJazz singerとして現在も積極的にライブ活動を中心に行っている中、新たなチャレンジとして武田真治 (sax)、TJO (DJ) とEDMユニットでも活動し「ULTRA JAPAN 2017」にも出演した。

札幌ジュニアジャズスクール

札幌ジュニアジャズスクールは、1期1年制のジャズスクールとして2000年に発足し、これまでに、延べ1,000名以上の修了生を輩出しており、19期生は中学生クラス21名、小学生クラス26名で2018年4月から1年間の活動を行ってきました。毎週土日に札幌芸術の森での定期練習、道内イベントへの出演や病院・福祉施設での訪問演奏、海外ジャズバンドとの交流なども行っています。



札幌ライラックライオンズクラブ

世界各国に46,000クラブ、136万人もの仲間を有する世界最大の奉仕団体、ライオンズクラブ。その中で札幌ライラックライオンズクラブは、1964年、東京オリンピックが開催された年に誕生しました。地域に根差した自分たちにもできる奉仕活動がしたい、社会に貢献することで生きていることへの感謝を表現したい、そんな思いをもつ市民で構成され、幅広い年齢層から、あらゆる職業の人が集まってフレンドリーな活動を続けています。

2010年、クラブ誕生45周年を記念して、公益財団法人札幌市芸術文化財団との共催によりはじまったライラックチャリティ・ミュージックランプもその活動のひとつ。多くの方々の支持を受け、今回で10回目を迎えます。